

英語リーディングA Reading A

業：K2-06111MY、生命：K2-06111MS

素養科目 1、2、3年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A組1班：小田島 創志(非常勤講師)、A組2班：関野 佳苗(非常勤講師)、A組3班：瀬戸川 順子(非常勤講師)

B組1班：長岡 真理子(非常勤講師)、B組2班：松井 直樹(非常勤講師)、B組3班：岡部 了也(非常勤講師)

C組1班：中野 里美(非常勤講師)、C組2班：岡部 了也(非常勤講師)、C組3班：瀬戸川 順子(非常勤講師)

S組1班：長岡 真理子(非常勤講師)

■教育目的（各クラス共通）

エッセイ、フィクション、時事問題、科学読み物、医療記事などの英文を読み、精読、速読、パラグラフリーディングなどを含む総合的な読解力をつけることを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。(知識、技能)
2. 多様な題材を取り上げ、それらに特有の表現や段落構成に慣れ、正確に読み取れるようにする。(知識、技能)

■授業内容

A組1班 小田島 創志(非常勤講師)

この授業では、多種多様なジャンルを扱った英文テキストを用いて、英文読解力の向上を図る。文法・趣旨を正確に把握するスキルを養成するとともに、英語の精読を通じて宗教・歴史・文学・政治への理解を深め、複眼的な視野から他文化を比較する。

さらにこの授業では、英語を日本語に(あるいは日本語を英語に)置き換える際にはどのような問題が生じるのかを検討する。翻訳によって何が伝わり、逆に何がそぎ落とされてしまうのか、逆に翻訳によって新たに生まれる価値はどこにあるのかを考察する。

準備学習(予習・復習)：予習：毎回、次週で扱う範囲を指定するので、英和辞典、英英辞典などを使用して、分からない単語やイディオム表現について調べておく。／復習：授業で扱った範囲を改めて読み直し、論理展開について整理する。

授業形態：講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(70%)、課題(30%)で総合評価する。

教科書：『TRANSCULTURE Transcending Time, Region and Ethnicity 多元文化論エッセイ響き合う文化たち』Christopher Belton 著、小田島恒志 編著 (金星堂)

A組2班 関野 佳苗(非常勤講師)

本授業では各国の著名人のスピーチ原稿を教材として、語彙、文法、構文、表現に注意して丁寧に読み進めていきます。事前に言葉遣いや内容が練られている原稿を読むことで英文の読解力、理解力はもちろんのこと、語彙力および表現力の向上を目指します。

スピーチのテーマは多様性、教育、平等な社会、平和といった大学生として知っておくべき内容です。ひとつのスピーチを2～3回の授業で読み進めていきます。

準備学習(予習・復習)：予習：受講者は指定された範囲の英文を授業までに読解し、必要な場合は語彙や表現を辞書で調べ、疑問点は授業で質問ができるように整理しておく(60分以上)。

復習：授業の内容を踏まえて英文を読み直す(30分以上)。授業の初めにおこなう前回分の語彙、表現テストの準備を行う(30分以上)。

授業形態：ディスカッション・ディベート、グループワーク、双方向型授業、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：・語彙、表現テスト等で理解度を確認し、授業中の質問に回答、解説を行うことでフィードバックを行います。

・授業態度(20%)、期末試験(80%)で総合的に評価する。

教科書：教科書は使用せず、プリントを配布します。

A組3班・C組3班 瀬戸川 順子(非常勤講師)

今後、より専門的な文献の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実を図る。下記テキストにより、幅広く世界の出来事について文章を読み、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

準備学習(予習・復習)：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施。期末試験(90%)、小テスト(10%)で総合評価する。

教科書：『What in the World ちょっと世界を見てみよう！』 Jim Knudsen（南雲堂）

B 組 1 班・S 組 1 班 長岡 真理子(非常勤講師)

この授業では、福祉・医療など現代の社会問題に関するトピックの英文を通じて読解力の向上を図るとともに、幅広い分野へ関心を広げることも目的としています。また、語彙・文法の確認に加え、どの分野の文章を読む際にも必要となる、英語の文章の構造理解を深めることも目指します。効果的な学習効果を得るために必ず事前の準備をしてください。なおこの授業では、教科書前半の Unit 1-7 を扱う予定です。

準備学習（予習・復習）：予習:教科書の当該箇所の予習。トピックによってはその背景知識を得る。(60 分以上)／復習:授業中に学習した内容及び語彙の確認(30 分以上)

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験 (80%)、授業参加 (20%) で総合評価する。

教科書：『Thinking about Human Life and Society - 人間生活と社会福祉を読み解く新たな視点』 茨木正志郎 他 著 (南雲堂)

B 組 2 班 松井 直樹(非常勤講師)

この授業の目的は“英語リーディング”という授業形態を通して、英文読解力・理解力の向上のみならず、筋道を立てて考えを構築する力、批判的に物事を考察する力を養うことにあります。海外のメディアによって伝えられたトピックを編集して作られたテキストを使用し、1 回の授業で 300 words 程度の“insightful”な英文を丁寧に読み進めながら、これらの能力を育成することになります。

授業は講義・演習形式で進めることとなります。教員がパワーポイントで作成した資料を提示してテキストの英文や内容を解説します。学生は素早く、的確にノートをとる作業を行うこととなります。円滑な授業運営を行うために、毎回テキストの指定箇所に対して予習が課されます。

加えて、テキストの内容を超えた英語読解力や幅広い視野を養うために、事後学習では英字新聞・雑誌などを活用して学習することが求められます。

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの当該箇所を予習(1 時間以上)／事後学習：授業内容の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる(1 時間以上)

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(70%)、授業態度(30 %)の合計で成績を評価します。

教科書：『What in the World (ちょっと世界を見てみよう！)』 Jim Knudsen（南雲堂）

B 組 3 班・C 組 2 班 岡部 了也(非常勤講師)

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テキストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法知識の拡充を図る。この授業では、テキストの前半の Chapter 1 から Chapter 7 までを取り上げる予定である。

準備学習（予習・復習）： 予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。

復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験の成績(100%)で評価する。

教科書：『English for Mass Communication - 2023 Edition -』 堀江洋文 他著(朝日出版社)

C 組 1 班 中野 里美(非常勤講師)

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを目的とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていくことを目標とします。進度として、テキストは前期で半分程度を予定していますが、もし予定箇所を早めに終われば、実践として英字新聞の記事を配布します。

準備学習（予習・復習）：予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない箇所がないか調べておきましょう。分からない箇所は授業で疑問解消していきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法：平常点(30%：テキスト内の Multiple Choice、True or False の問いや、こちらからの質問に答える)、試験(70%)で評価します。

教科書：『15 章版：ニュースメディアの英語 2023 Edition』 高橋 優身 他著(朝日出版社)